



夢へのかけはし

自分との戦いこそが明暗を分ける

第15回山鹿市中学校総合体育大会

私たちはこの大会に出ることを目標に毎日練習に取り組んでできました。うまくいかない日、心が折れそうになった日もありました。その中で自分と向き合い、諦めずに行動を続けることで、「本当に大切なものは何か」に、気づくことができました。私たちには支えてくれる家族がいます。厳しくも温かく背中を押してくれる先生方がいます。苦しいときに側にいてくれる仲間がいます。そのありがたさを毎日の練習が教えてくれました。技術の向上だけでなく、自分の弱さや甘さにもたくさん気づかされた学び多き日々でした。だからこそ、自分と向き合うこと、最後までやり抜くこと、これからの人生でもきっと力になると信じています。感謝の気持ちを胸に、全力で最後まで自分たちの姿で伝えることを誓います。

「勝負は時の運」という言葉があります。勝負の勝ち負けはその時の運・不運によって左右されるもので、必ずしも実力通りとは限らない。このことは、接戦の試合の中で、何度か目にしたことがあるのではないのでしょうか。

しかし、輝かしい成績の裏には必ず努力があります。運も味方につける本気の継続した取組があったと思います。苦しいときやうまくいかないときに、立ち止まろうとする自分自身を奮い立たせ、チームのため、自分のために努力を積み重ねてきたはずです。自分との戦いに負けずに挑戦を続けたその自信を力にし、試合において存分に力を発揮する生徒の姿は頼もしく輝いていました。

各会場で力強いご声援をいただいた皆様方に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

良い結果を残すことができて嬉しい。しかし、自分としては、もっともっとやれると感じた。努力を重ね、県大会では力を出し切りたい。【剣道部員】

これまでの練習の成果を発揮することができ、チームとしての一体感を感じることができた。県大会では、チームを引っ張り頑張りたい。【バスケットボール部員】

大歓声のなか、緊張やプレッシャーもあったが、練習してきたことを出すことができた。最高の瞬間にコートに立てて嬉しかった。【バレーボール部員】